

令和元年度老人保健健康増進等事業

介護ロボットの評価指標に関する調査研究事業

株式会社三菱総合研究所

1. 事業実施目的

本事業は、平成30年度老人保健健康増進等事業「介護ロボットの評価指標に関する調査研究事業」において作成した介護ロボット導入・効果検証のための評価指標を用いて、具体的な実証手法を整理し、試行的に実証を行うことで、実証評価のための評価マニュアルを作成し、介護施設等及び介護ロボットメーカーへの評価結果の共有及びその活用方策について検討を行うことを目的とした。

2. 事業の概要

(1) 検討委員会の設置・開催

学識者及び関係団体等から構成する会議体を設置し、介護ロボットに関する指標の信頼性・妥当性、評価方法及び実証方法等について検討を行った。なお、検討委員会のメンバーはロボット技術分野等に関する有識者、施設介護・居宅介護の現場、関連団体の関係者等10名とし、3回開催した。

(2) 実証評価

介護ロボットの導入・効果検証を5施設・事業所において行った。実証した機器は、開発重点分野6分野13項目のうち、①移乗支援（装着）、②移乗支援（非装着）、③排泄支援（排泄物処理）、④見守り支援（在宅）の機器とした。

(3) 導入評価マニュアルの作成

上記実証評価を通じて、介護ロボットを導入した際に、介護施設・事業所自らで評価を行うためのマニュアル（「介護ロボット導入評価マニュアル」）を作成した。

(4) 評価結果の活用方策の検討

機器の導入において、既導入施設からどのような情報提供があると導入検討につながるかの調査を行った。実証評価に参加いただいた施設を含め、関係団体からの協力を得て、施設等に調査を行い、機器導入前に有用となる情報を整理した。調査結果を踏まえて、検討委員会で議論を行い、評価結果がどのような形で各施設に提供されると望ましいかについて、活用方策について検討を行った。

3. 事業結果の概要

本調査研究において、「介護ロボット導入評価マニュアル」の成果物を作成した。また、在宅向けに、出来る限り評価負担を減らした評価シート類を作成した。

本マニュアル・評価シートを活用することにより、介護ロボットを導入した際、施設・事業所自らが導入評価をすることで、目指すべき姿に向かうことが出来ているかを確認することができる。その際の参考資料として、本事業における成果を活用頂きたいと考えている。

以上